平成２６年度 共同商品テスト

「ふとんクリーナーについて」

結果報告書

平成２７年２月

横浜市消費生活総合センター

目　　次

１．テスト概要
１―（１）　趣旨…… ３
１―（２）　テスト対象商品…… ３
１―（３）　テスト項目と主なテスト内容…… ３
１―（３）―ア　表示と取扱説明書の記載について…… ３
１―（３）―イ　機能性ついて…… ３
１―（３）―ウ　安全性について…… ５
１―（３）―エ　使用性について…… ５
１―（４）　テスト参加者…… ５
１―（５）　テスト期間…… ５
１―（６）　テスト結果の公表…… ５

２．テスト結果
２―（１）　表示と取扱説明書の記載について…… ６
２―（１）―ア　電気用品安全法に定められている表示…… ６
２―（１）―イ　取扱説明書の記載の有無と気づいたこと…… ６
２―（２）　機能性について…… ６
２―（２）―ア　吸引について（テストのために購入したふとん）…… ６
２―（２）―イ　吸引について（参考：長年使用していた別のふとん）… ７
２―（２）―ウ　紫外線について　…… ８
２―（２）―エ　コードレスタイプの連続使用時間について…… ８
２―（３）　安全性について…… ９
２―（４）　使用性について…… ９

３．消費者へのアドバイス…… １１

４．テスト参加者の感想…… １２

資料　１　検体一覧（取扱説明書より抜粋）…… １３
資料　２　電気用品安全法で定められている表示について…… １４
資料　３　取扱説明書の記載の有無と気づいたことについて…… １５～１６
資料　４　機能性（吸引）について（テストのために購入したふとん）…… １７
附１…… １８
附２…… １９
附３…… ２０
資料　５　機能性（吸引）について（参考：別の寝具）…… ２１
附１…… ２２

附２…… ２３
附３…… ２４
資料 ６　機能性（紫外線・連続使用時間）について…… ２５
資料 ７　安全性について…… ２６
資料 ８　使用性について…… ２７
附１…… ２８
附２…… ２９
附３…… ３０～３１
附４…… ３２～３３
附５…… ３４～３５
附６…… ３６～３７

１．テスト概要

１―（１）　趣旨

昨今、衣・食・住にわたり、私たちの生活環境は様々な分野で便利になる一方で、こうした生活環境の変化がもたらすアレルギー等で悩んでいる方も多数いると言われています。

中でも、住宅の気密性や断熱性等の向上により、アレルギーの原因とされるダニが生息しやすい環境が作り出され、健康への影響も出ているといった報告もされています。

こうしたことから、ダニがアレルゲンのひとつとして注目され、生活環境を改善する上でその効果的な対策を講じることが重要であると言われています。

そこで今回は、紫外線で除菌ができるとうたわれ、ふとん等に付いているダニの死骸や糞を含むちりごみを吸引して除去する「ふとんクリーナー」をテスト対象としました。

テストは、横浜市内の消費者団体、横浜市消費生活推進員の協力を得て平成２６年１０月～１１月に実施しました。

１―（２）　テスト対象商品

ふとんやソファー等のちりごみを掃除する専用品として販売されている「ふとんクリーナー」のうち、機能として紫外線を照射して除菌等の効果が得られるとうたわれているものを４点選び、テストしました。４点の内１点はコードレスタイプのものを選びました。

（１３ページ　資料１）

１―（３）　テスト項目と主なテスト内容

１―（３）―ア　表示と取扱説明書の記載について

「電気用品安全法」に基づく表示の確認及び取扱説明書における「家電製品の安全確保のための表示に関するガイドライン」*1に定められている表示の確認と取扱説明書の内容ごとの表記の有無について調べました。

また、取扱説明書を見て気づいたことを挙げました。　（１４～１６ページ 資料２～３）

＊1「家電製品の安全確保のための表示に関するガイドライン」:
一般財団法人　家電製品協会作成　平成２１年３月第４版

１―（３）―イ　機能性について

「吸引性」「紫外線」「コードレスタイプの連続使用時間」の３項目についてテストを行いました。

（ア）吸引性のテスト

吸引性のテストではアレルゲン物質（ダニの死骸やふん）の量が、ある一定レベル以上付着していると判断できる状況にしたふとんを用意して吸引対象物としました。準備方法

としては真綿入りの敷きふとん（１ｍ×２ｍ）を４枚購入し、センター内に置き、できるかぎり手をかけほこりやダニを付けるようにして、７週間かけてアレルゲン物質（ダニの死骸やふん）を殖やしていきました。敷きふとんの状況の確認には「ダニアレルゲン判定キット*2」を用いてダニアレルゲンによる汚染状況を把握し、非常に汚染されているという判定結果が出たものをテストに使いました。

＊２「ダニアレルゲン判定キット」：商品名「アサヒダニスキャン」
販売元　アサヒフードアンドヘルスケア株式会社
ドイツの医療機器メーカー、ドレーガー社とアサヒビール薬品（株）が共同開発したもので、室内環境中のダニによる汚染を家庭内で簡便に、手を汚さずに判定することができる日本で初めてのダニアレルゲン判定キット。
調べたいふとん等を１分間直接こすって検査することができる。

吸引テストの方法は、一定時間１㎡の広さ（敷きふとんを縦に半分に分けて１㎡とする）を吸引し、取れたちりごみを「屋内塵性ダニ簡易検査キット*3」を使ってちりごみの中にアレルゲン物質がどのくらい含まれているかを調べました。それと共に「ダニアレルゲン判定キット」を使い、ふとんの表面の状況に変化があるか確認しました。

＊３「屋内塵性ダニ簡易検査キット」：商品名「マイテイーチェッカー」
販売元　住化エンビロサイエンス株式会社
現場で簡単に検出できる簡易検査キットで、吸引したちりごみを抽出液に浸した上、この液を検査紙につけて検査することができる。

また、参考として長年使用していた別のふとんを吸引対象物としました。こちらも「ダニアレルゲン判定キット」により非常に汚染されているという状況を確認した上で、一定時間１㎡の広さを吸引し取れたちりごみを「屋内塵性ダニ簡易検査キット」を使ってアレルゲン物質がどのくらい含まれているか、また、表面の状況については「ダニアレルゲン判定キット」を使って吸引後変化があるかそれぞれ確認しました。

（１７～２４ページ　資料４～５）

（イ）紫外線のテスト

紫外線のテストでは、殺菌作用のある２５３．７nm（ナノメートル＝10 億分の１メートル）の波長の紫外線を計測できる紫外線強度計を用い、ふとんクリーナーを使用する際と同じような状態で計測しました。

なお、殺菌作用のある２５３．７nm の紫外線を含むＣ波という紫外線は、自然界ではオゾン層により遮断され、地表には届いていないもので、ふとんクリーナーでは紫外線を照射するランプにより発生させています。（２５ページ　資料６）

（ウ）コードレスタイプの連続使用時間のテスト

コードレスタイプの連続使用時間はスイッチを入れてから自然に停止するまでの時間を計

測しました。　（２５ページ　資料６）

１―（３）―ウ　安全性について

取扱説明書に、安全のため作動が止まると記載されている場合について機種ごとに記載内容を列挙し、その状況が出現するか確認しました。

（２６ページ　資料７）

１―（３）―エ　使用性について

テスト参加者に各家庭内で実際に使用してもらい、一般家庭で使用する紙パック式の掃除機の使い勝手を「３」＝普通として、「５」良いから「１」悪いまで５段階で点数化しました。調査項目は、「吸引時の使い勝手」「作動音の大きさ」「ごみの処理」「お手入れ」「収納のしやすさ」に関する１０項目とし、その他気づいたこと等を挙げました。

（２７～３７ページ　資料８）

１―（４）　テスト参加者

組織名	参加団体	参加数
横浜市消費者団体連絡会	生活共同組合パルシステム神奈川 横浜くらし見直し「結の会」 生活共同組合ユーコープ	３団体 ５名
横浜市消費生活推進員	鶴見区、港南区、栄区	８名

家庭内での使用性のテスト等にセンターの職員が３名加わりました。

１―（５）　テスト期間

テスト期間　平成２６年１０月～１１月

実施日程

回	日　付	内　容
第１回	１０月　８日（水）	取扱説明書の記載について
第２回	１０月１６日（木）	機能性（紫外線・連続使用時間）・安全性について
第３回	１０月２２日（水）	機能性（吸引）について
各家庭	１０月２３日（木）～ １１月１２日（水）	使用性について
第４回	１１月１４日（金）	使用性についてまとめ

１―（６）　テスト結果の公表

「街頭キャンペーン」、「よこはま　くらしナビ　２月号」、「当センターホームページ」などで公表します。

２．テスト結果

２―（１）　表示と取扱説明書の記載について

２―（１）―ア　電気用品安全法に定められている表示

電気用品安全法に定められている表示（ＰＳＥマーク・事業者名・定格電圧、定格電流等）はすべての機種に表示されていました。コードレスタイプのものだけが充電器のほうにＰＳＥマークのみの記載があり、ふとんクリーナー本体には　事業者名・定格電圧、定格電流等の表示がありました。一方、コードレスタイプ以外の機種は全て本体に表示の記載がありました。　なお、コードレスタイプのものには特定電気用品（事故による危険性が高いとされる用品）につけられるＰＳＥマークが、コードレスタイプ以外の機種には特定電気用品以外につけられるＰＳＥマークが表示されていました。

（１４ページ 資料２）

２―（１）―イ　取扱説明書の記載の有無と気づいたこと

（ア）　取扱説明書の記載の有無

「家電製品の安全確保のための表示に関するガイドライン」に基づく「警告表示」、「安全上の注意・使用上の注意」、「各部の名前」、「基本的な機械操作」、「お掃除の仕方・かけ方」、「お手入れ方法」、「消耗品の交換方法」、「困ったときは・故障かなと思ったときは」、「仕様」、「消耗品について」、「保証とアフターサービス」、「相談窓口・連絡先」、「安全上作動しない（自動停止させる）場合について」等の記載について調べたところ、おおむねどの機種も記載されていました。

しかし、消耗品の説明や交換方法について記載されていない機種があり、情報として必要ではないかと思われました。

（１５ページ　資料３－１）

（イ）　気づいたこと

全般的にわかりやすい説明書とわかりにくい説明書と差がありました。わかりやすい説明書は文字が大きく見やすい字体を使用し、図を使って説明されているもので、更に色分けされているものは一層わかりやすく感じられました。

（１６ページ　資料３－２）

２―（２）　機能性について

２―（２）―ア　吸引について（テストのために購入したふとん）

吸引前に「ダニアレルゲン判定キット」(ダニスキャン)でふとんの表面が「非常に汚染されている」という判定を確認して、１分間の吸引を１回行い、「屋内塵性ダニ簡易検査キット」（マイテイーチェッカー）で検査しました。その結果全ての機種の全ての吸引したちりごみの判定において、「ダニアレルゲンの汚染はなく」「とても快適な状況」という結果がでました。そこで吸引時間を２倍の２分間とし、取れたちりごみの汚染状況を「屋

内塵性ダニ簡易検査キット」（マイテイーチェッカー）で検査しましたが、やはり全ての機種の全ての吸引したちりごみの判定において、「ダニアレルゲンの汚染はなく」「とても快適な状況」という結果がでました。そこで、３分間吸引した後の表面の状況を再度確認するため、「ダニアレルゲン判定キット」(ダニスキャン)により確認したところ、③の機種が２段階近く状況が改善され、「ダニアレルゲンの汚染は軽度である」という状況にかなり近づいた判定になりました。また、②の機種は１段階状況が改善され、「非常に汚染されている状況」から、「汚染が進んでいる」という状況になりました。①と④の２機種はどちらも吸引前よりわずかしか汚染レベルが下がらず、判定は「非常に汚染されている状況」でした。その後、吸引時間を当初の３倍の３分間として１回行い、吸引により取れたちりごみの汚染状況を「屋内塵性ダニ簡易検査キット」（マイテイーチェッカー）で検査しました。その結果、全ての機種の全ての吸引したちりごみの判定において、今までと同様、「ダニアレルゲンの汚染はなく」「とても快適な状況」という結果がでました。そこで再度、表面の状況を「ダニアレルゲン判定キット」(ダニスキャン)により確認したところ、③の機種はさらに１段階下がり「ダニアレルゲンの汚染は無い」という状況にかなり近づいた判定になりました。また、②の機種ももう１段階下の状況に少し近づいた状況になりました。①と④の２機種は３分間吸引した後の状況と差はありませんでした。

以上の結果から、ちりごみの汚染状況を検査する「屋内塵性ダニ簡易検査キット」（マイテイーチェッカー）では汚染されている状況を確認できませんでした。これは、テストのために購入したふとんの内部まで十分に汚染されていなかったためであると考えられます。一方、表面上のアレルゲンレベルは吸引時間の経過とともに、汚染レベルが大きく下がった機種とわずかしか下がらず同程度のままの機種がありました。

（１７～２０ページ　資料４）

２―（２）―イ　吸引について（参考：長年使用していた別のふとん）

２―（２）―アの結果をふまえ、ダニアレルゲンが確かに吸引されるのかを確認するため家庭内で長年使用されていたふとんを用いて吸引を行い、ちりごみの中のダニアレルゲンを「屋内塵性ダニ簡易検査キット」（マイテイーチェッカー）を用いて検査しました。こちらも吸引前の表面の状況を「ダニアレルゲン判定キット」(ダニスキャン)により確認し、「非常に汚染されている」という判定を確認してから、１分間の吸引を１回、さらに３分間連続して吸引した後、再度１分間の吸引を１回行い、また４分間連続して吸引した後再度１分間の吸引を１回行うことを２度繰り返しました。この結果１分目、５分目、１０分目、１５分目にそれぞれ１分間吸引した時に取れたちりごみを検査しました。

その結果、どの機種も吸引したちりごみの中のアレルゲン物質は吸引初めには大変多く、程度の差はあるものの吸引時間の経過とともに汚染レベルは低下しました。

一方、表面の状況を確認する「ダニアレルゲン判定キット」(ダニスキャン)による判定は４分間吸引した後と１５分間吸引した後の表面の状態について、確認しました。①と③の機種は多少汚染レベルが下がりましたが、②と④は変化がありませんでした。

以上のことから、長年使用してきた寝具等のアレルゲン物質を良好な状態にするのには、

時間をかけて吸引する必要があることがわかりました。

（２１～２４ページ　資料５）

２―（２）―ウ　紫外線について

全ての機種が除菌やダニの除去を目的として紫外線ランプによる照射機能を付けています。これは殺菌作用のある２５３．７nmの波長の紫外線を照射する紫外線ランプによる機能です。ただし、コードレスタイプの①の機種は本体の吸い込み口を除菌することを目的としていますが、②③④は吸引時にふとん等の吸引対象物の除菌やダニの除去を目的としており、この点で大きな違いがありました。

照射の強度（照度）は、ふとんクリーナーの紫外線強度計へのあて方のわずかな違いにより強度の数値が変わるため、計測できた中での最大値で考察すると次のようになります。

②③④の紫外線強度は、④が１㎠あたり3.3mW（ミリワット＝千分の１ワット）で最も高く、最も低い機種の約2.8倍ありました。次に、除菌をするのにどのくらい照射時間が必要かそれぞれの機種について割り出したところ、インフルエンザ菌の不活化を例にすると、９９．９％の菌を不活化させるのに必要な紫外線照射量は５．４mj/㎠（ミリジュールパー平方センチメートル・１秒間に５．４mW/㎠の紫外線強度）*4なので、②の機種で５．４÷２．９１≒１．８６秒、③の機種で５．４÷１．１８≒４．５８秒、④の機種で５．４÷３．３≒１．６３秒の間、それぞれ１㎠のところに紫外線を照射させることが必要であることがわかりました。

紫外線の強度は周囲の温度・湿度・空気の流れ等の周囲の環境にも左右されるので、上記で出した時間以上にゆっくりとクリーナーをかけたほうが除菌効果が得られると考えられます。④の取扱説明書には「１か所に対して２分間以上、ＵＶ（紫外線）ランプで照射することで、除菌効果が上がります。」と記載されています。

また、①の機種についてはインフルエンザ菌の不活化に５．４÷０．０８７≒６２．１秒必要になります。この機種は充電器に本体を戻すと本体の吸い込み口を除菌するために５分間必ず紫外線を照射するようになっています。そこで５分間という時間の妥当性を検証しました。不活化に２４mj/㎠（１秒間に２４mW/㎠の紫外線強度）という比較的多量の紫外線照射量が必要*4なネズミチフス菌を例にすると、２４÷０．０８７≒２７５．９秒≒４．６分で、①の機種では理論上約4.6分間照射しなければならないということになり、５分間という時間は妥当なものと判断しました。　（２５ページ　資料６）

＊４：インフルエンザ菌・ネズミチフス菌を不活化させるのに必要な紫外線照射量：
岩崎電気ホームページ　「紫外線による殺菌・不活化」より

２―（２）―エ　コードレスタイプの連続使用時間について

取扱説明書の記載どおり、２４～２５分連続使用できました。

（２５ページ　資料６）

２―（３）　安全性について

取扱説明書に記載されている安全性に関する項目について確認しました。
全ての機種に吸込モーター加熱防止装置が付いていますとの記載があり、１)ダストボックスが一杯の時、２)ダストフィルター又は吸込口が塞がれている時、３)長時間使用した時に加熱防止装置により作動しないと記載されていましたが、どの機種も確認できませんでした。なお、②については 30 分間連続作動させると自動的に運転が切れるタイムリミット機能が働き、自動的に作動が止まることが確認できました。

ダストボックスやダストフィルターを正しく装着しないと作動しませんと記載があったのは②と④の２機種で、確かに作動しませんでした。特に②はランプの点灯や音で知らせる機能も付いていました。

ＵＶセンサーの周辺が汚れていたり異物が入り込むと作動しませんと記載があったのは②と④でしたが、確認できませんでした。

紫外線は人体に有害なため、紫外線ランプが掃除対象物から離れると紫外線ランプが消灯するように②、③、④全てが設定されていました。消灯するまでの距離は、②が約１０㎝、③が約３㎝、④が約１㎝と異なりました。

③には一定の場所を何度も往復させると静電気により作動しないと記載がありましたが、確認できませんでした。

②には、一定時間作動させないと自動でロックモードに切り替わるという記載があり、切り替わる際は音で知らせるようになっていました。また、掃除対象物に強く押し付けることで，たたきブラシに無理な力が入ると停止するということも記載されていましたが、押し付けると停止することは確認できませんでした。

（２６ページ　資料７）

２―（４）　使用性について

機種ごとの平均点は①が３．２５で最も高く、②が３．１５で次いで高く、その次が④③の順となりました。若干機種間で差がでましたが、４機種全ての平均点は、３．０４でふとんクリーナーの使用性は、ほぼ一般家庭で使用する紙パック式の掃除機と同じくらいという結果となりました。　　（２７～２９ページ　資料８、資料８附1、附２）

機種ごとに特徴を考察すると、

①は吸引時の使い勝手についての評価が４機種の中で一番低くなりました。これは、「メインスイッチが裏面でわかりにくい」、「光線の状況によりバッテリー残量お知らせサインが見づらい」、「ゴミ捨てサイン・フィルター交換サイン等が無い」等の理由に加え、吸込仕事率*[5]が 16W（資料１より）と一番小さく、吸い込んでいるという実感が感じられないこと等が理由で、低くなりました。しかし、コードレスタイプでコードが邪魔にならず、吸引対象物の上を動かす時に大きめのローラーがあるため、動かしやすいという評価もありました。一方、吸込仕事率が小さいことで作動音の大きさは小さくなり、作動音

についての評価は４機種の中で一番高くなりました。そして、ゴミの処理・お手入れ・収納のしやすさについても４機種中最高評価となりました。これはダストボックスやダスト（ＨＥＰＡ）フィルターの形状がそれほど複雑でなく、特に着脱等が簡単にできるためと考えられます。ただ、ダスト（ＨＥＰＡ）フィルターを掃除するために別の掃除機が必要な点は煩わしさを感じましたが、ダスト（ＨＥＰＡ）フィルターとスポンジフィルターが密着しているため、ダスト（ＨＥＰＡ）フィルターの汚れ方が軽減されているように感じました。収納については、充電器に戻すことで収納が容易にできました。この結果、全体的な評価では一番高くなりました。　　（３０～３１ページ　資料８　附３）

＊５吸込仕事率：JIS 規格に定められている吸込力の目安。

②は吸引時の使い勝手や作動音の評価が高めの評価となり、お手入れや収納に関しての評価が低めとなりました。吸込仕事率が２番目に低い数値でしたが毛髪等の目に見えるごみもある程度は取れました。ちりごみを捨てる際は、ダストボックスをフィルターが付いる状態のまま水の中に入れてフィルターを外してすすぐようにと、取扱説明書に記載されているため、粉塵を吸い込むこともありませんでした。しかし、すすいだ水を洗面台等で流すのには抵抗を感じるという意見がありました。お手入れについては消耗品の交換の時にドライバーが必要になるため面倒でした。また、作動させると静電気によって本体の周りや回転ブラシ・紫外線ランプ゛等の周辺にゴミが張り付き取りづらかった等の理由もあり、結果として、評価が低くなりました。収納のしやすさは、電源コードの収納場所が無い等の理由で低めの評価になりましたが、今回のテストではテスト対象としなかった別売りの専用収納台を利用すると収納しやすくなるかと思われます。

（３２～３３ページ　資料８　附４）

③は吸込仕事率が他の機種よりかなり高いこともあり、吸引力に関する評価が大変高くなりましたが、一方で作動音が大きいため音に関しての評価が低くなりました。スイッチ類の評価では、運転モードが「吸引＆照射」「吸引のみ」「サブ吸引ホース」「ＵＶ照射」の４つがあり、本体のモード選択ボタンに絵がかかれているのはわかりやすかったですが、切替えるとモード選択は赤色、モード非選択は青色のランプ表示になり、使用者の感覚では赤色は停止という認識があるため違和感を感じ、迷いました。また、４機種の中で一番重量があるため、吸引時に重く感じられました。ゴミの処理や手入れについては、フィルターの着脱は、やりやすく水洗いも可能なのでその点は良かったですが、ＨＥＰＡフィルターの構造がやや複雑なためＨＥＰＡフィルターの溝をきれいにするのに手間がかかりました。回転ブラシの清掃には本体に付随しているサブ吸引ホースを使うので簡便でしたが、回転ブラシ自体が外せない上にブラシの手前に本体の枠があるので手入れがしにくかったです。　　（３４～３５ページ　資料８　附５）

④は本体の大きさがコンパクトで重さも２番目に軽いので吸引時の動かしやすさの評価が大変高くなりました。そして吸込仕事率も２番目に高いことから吸引力に関する評価も２番目に良い評価となりました。一方で吸い込み口が小さいことが影響してか毛髪のような目に見えるごみの吸い込みは難しく、評価が低くなりました。スイッチはスライド式のためＯＮとＯＦＦがわかりやすく、運転モードの切替も操作しやすいですが、スライ

ド式のスイッチの指す位置と目盛の位置が合っていないので、目で見てすぐにその時の運転モードを把握することが難しかったです。ゴミ処理については、ダストボックスは水洗いできますがダストフィルターはできないので、ちりごみがどうしても飛びやすくなり評価を下げました。お手入れについては、やりやすく高い評価となりました。

（３６～３７ページ　資料８　附６）

３．　消費者へのアドバイス

まず、吸引性の面から考えると、ふとんクリーナーはどれもちりごみを取ることを目的としているので、通常の掃除機と同じように大きなごみも完全に吸引できるわけではないということを理解した上で使っていただければと思います。ちりごみを吸引する力はどの機種もきちんとありましたが、国内メーカーの紙パック式掃除機の多くが吸込仕事率として５００Wはあることと比較すると、ふとんクリーナーはシーツ等の吸込みを回避するために、ずっと小さい吸込仕事率になっていますので、長年使用してきた寝具等を掃除する場合、最初のうちは時間を多めに丁寧にかけ、継続的にふとんクリーナーで掃除をすることを心がけると良いでしょう。継続的に使用していただくためには、使用性に重点を置いて選択されるのが良いでしょう。

使用性について考慮いただきたい点は

○ 重さはどうか

利用される方の握力や腕の力にも左右されますが、やはり軽いものの方が負担が少なく無理なくかけることができます。１００ｇ、２００ｇの違いでも差が感じられます。通信販売でしか購入できない商品もあるので、重さに関しては家電量販店等で扱っているものを試していただき、参考にされるとよいでしょう。

また、掃除対象物と接する面になるべく大きいローラーがあるほうが、動かす時の重さが軽減され、かけやすくなります。

○ ダストボックスやフィルター類が水洗いできるか

ちりごみは大変細かいのでどうしても飛びやすいです。水で洗うことができる方がちりごみを呼吸時に吸い込む可能性が低くなるとともに、より清潔に利用できるでしょう。ただし、汚水を流さなければならないことも考慮してください。

○ 消耗品の交換方法と価格はどうか

ダストボックス・フィルター類・紫外線ランプ・回転ブラシそして充電式の場合はバッテリー等の消耗品が必要になります。交換用の消耗品を取り寄せれば自分で交換可能なのか、修理に出す必要があるのか、確認された方がよいでしょう。

紫外線ランプやバッテリーの交換が修理対応の場合は、交換費用がある程度必要になります。また、紫外線ランプはランプが点いていても一定の使用時間を超えると殺菌線出力が低下します。殺菌線出力が低下すると当初の殺菌効果が得られなくなります。そこで定格寿命としてメーカーが定めている時間以上に使用した

場合は、紫外線ランプを交換する必要があります。(パナソニックホームページ「殺菌灯」より）ので注意してください。フィルター類等の価格はメーカーによりばらつきがありますので、こちらも確認されるとよいでしょう。

○　収納場所はどこにするのか。

　こまめに長期的に利用してこそ効果があると思われますので、なるべく使い勝手の良い場所へ収納できることが望ましいと考えます。別売りの収納専用台が有るのか無いのか、有るならそれを利用するのかしないのか、収納する予定の場所におさまるか、検討してください。

○　各メーカーの相談窓口を利用してください。

　購入前にいろいろなことで疑問に思ったことや確認したいことは、それぞれの相談窓口に問合せをすると教えてくれますので、積極的に利用して購入のための情報を得てください。

○　購入後は、取扱説明書を必ず読んでください。

４．　テスト参加者の感想

- 購入したいと思っていたので、個人では数社の商品を比較することは難しいため、とても参考になった。特にふとんクリーナーは日本製でないものが多く、「信頼」という点で不安でしたが、商品テストに参加し解消できました。
- 普段気付かない点がわかった。
- 自分の家の掃除機ももっと丁寧に使わなくてはといけないと思った。
- 各機種の特色やテストの結果を知ることができ、とても勉強になった。
- 思ったよりふとんの綿ぼこりやごみが取れることがわかり、外にふとんを干せないような家庭には良いかなと思った。
- とても楽しく参加させてもらった。
- 目には見えにくいダニやちりに気をつけるようになった。
- メンバーのみなさんの手際の良さで、時間内に楽しくできて良かったと思いました。
- 吸引力が弱いと感じたものでも、ふとんの寝心地等の良さを実感すると、吸引力が弱くもなかったのかと気づいた。
- 使い勝手の違いがわかり、購入の参考になりました。
- とても楽しく参加でき、もっとテスト回数が多くても良かった。

資料１　　検体一覧（取扱説明書等より抜粋）

	①	②	③	④
本体の大きさ　（cm） （幅×奥行×高さ）	20.0×41.7×26.7	35.97×33.3×12.28	22.2×35.8×20.0	27.0×29.0×17.0
充電器の大きさ　（cm） （幅×奥行×高さ）	26.5×30.0×21.4			
本体の重さ（kg）	1.9	2.3	2.9	2.1
充電器の重さ（kg）	0.9			
消費電力（本体）（W）	100	350	550	350
消費電力（充電器）（W）	30			
吸込仕事率（W）　※１	16	65.1	285	88
布団たたき機能	4,000回×2　/分	4,000回/分	無し	最大3,600回/分
回転ブラシ	有り	有り	有り	無し
ダストボックスの容量（ℓ）	0.2	約0.3	0.57	記載無し
紫外線機能	○　※２	○	○	○
充電時間	約3時間			
消耗品 （自分で交換が可能なもの）	フィルター（2種類）	フィルター（2種類） ＵＶランプ 回転ブラシ ダストボックス	フィルター（1種類） ＵＶランプ	フィルター（2種類）
消耗品 （自分では交換ができず 修理対応になるもの）	バッテリー ＵＶランプ			ＵＶランプ

※１：吸込仕事率とはJIS規格に定められている吸込力の目安。（③の取扱説明書より抜粋）

ヘッドを外した状態で「風量（吸い込む空気の量）」と「真空度（空気を吸い込む圧力）」を測定し、両方を掛け合わせた数値となっ

参考：吸込仕事率＝真空度（ゴミを浮き上がらせる力）×風量×0.01666

※２：充電器に機能がついている。

資料２　　電気用品安全法で定められている表示について

	①	②	③	④
表示の有無	有 特定電気用品 ＰＳＥマーク	有 特定電気用品以外の 電気用品ＰＳＥマーク	有 特定電気用品以外の 電気用品ＰＳＥマーク	有 特定電気用品以外の 電気用品ＰＳＥマーク
写　　真	 充電器に表示	 本体に表示	 本体に表示	 本体に表示
	 本体の表示には ＰＳＥマークは ありませんでした			

特定電気用品のマーク　　特定電気用品以外の電気用品マーク

電気用品を製造または輸入を行う事業者は、法に定められた手続き等の義務を履行し、電気用品にPSEマークを表示しなければなりません。
（一般財団法人 日本品質保証機構（略称 JQA）HPより）

二重絶縁構造の電気機器には「二重絶縁マーク」が表示されています。このマークが表示されている製品は、電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、又は準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されています。尚、このマークが表示されていない製品は、労働安全衛生規則等の規定に基づき、漏電遮断器を取付け、アースを行ったうえで使用する必要があります。（厚生労働省：職場のあんぜんサイト　より）

資料３　　取扱説明書の記載の有無と気づいたことについて　　記載有：○　　記載無：×

資料３－１

記　載　事　項	①	②	③	④
「家電製品の安全確保のための表示に関するガイドライン」（＊1）に基づく警告表示	○	○	○	○
安全上の注意・使用上の注意	○	○	○	○
各部の名前	○	○	○	○
基本的な機械操作	○	○	○	○
掃除の仕方・かけ方	○	○	○	○
お手入れ方法	○	○	○	○
消耗品の交換方法	×	○	×	○
困ったときは・故障かなと思ったときは	○	○	○	○
仕様	○	○	○	○
消耗品について	×	○	×	○
保証とアフターサービス	○	○	○	○
相談窓口・連絡先	○	○	○	○
安全上作動しない（自動停止させる）場合について　（＊２）	○	○	○	○

＊１：一般財団法人　家電製品協会　制定

＊２：詳しくは「資料４　安全性について」をご参照ください

資料３－２

記　載　事　項	①	②	③	④
他に気づいたこと	・他に比べ取扱説明書が簡単である ・警告、安全上の注意についての記載が読みづらい ・人が実際に使用している絵がありわかりやすい ・機器本体に付いている小さな注意書きが、見やすい ・絵も大きく、わかりやすい	・Ａ４サイズの説明書は文字も図も大きく読みやすい ・動かす時の手順がわかりにくい ・お手入れ方法が詳しく記載されている ・カラー版でわかりやすい ・掃除をする頻度の目安がわかる ・人が実際に使用している絵がありわかりやすい ・よくある質問のコーナーがわかりやすい ・消耗品の図がありわかりやすいが、値段もかいてあるとなお良い	・取扱説明書自体が小さい ・字が小さい ・説明文がわかりにくい ・色分けがほしい ・絵で説明が入っているのはわかりやすい ・付属のブラシをどこで使用するのかわかりにくかった	・字が見やすく、すっきりしていてわかりやすい ・使い方の詳しい説明がなされているので、初めて使用する時も大丈夫だと思った ・全体的にわかりやすく親切である ・取扱説明書の中の１ページが保証書になっているので、なくす心配がない ・上面吸込口がどういうものかわからなかった

資料４　　機能性（吸引）について(テストのために購入したふとん)

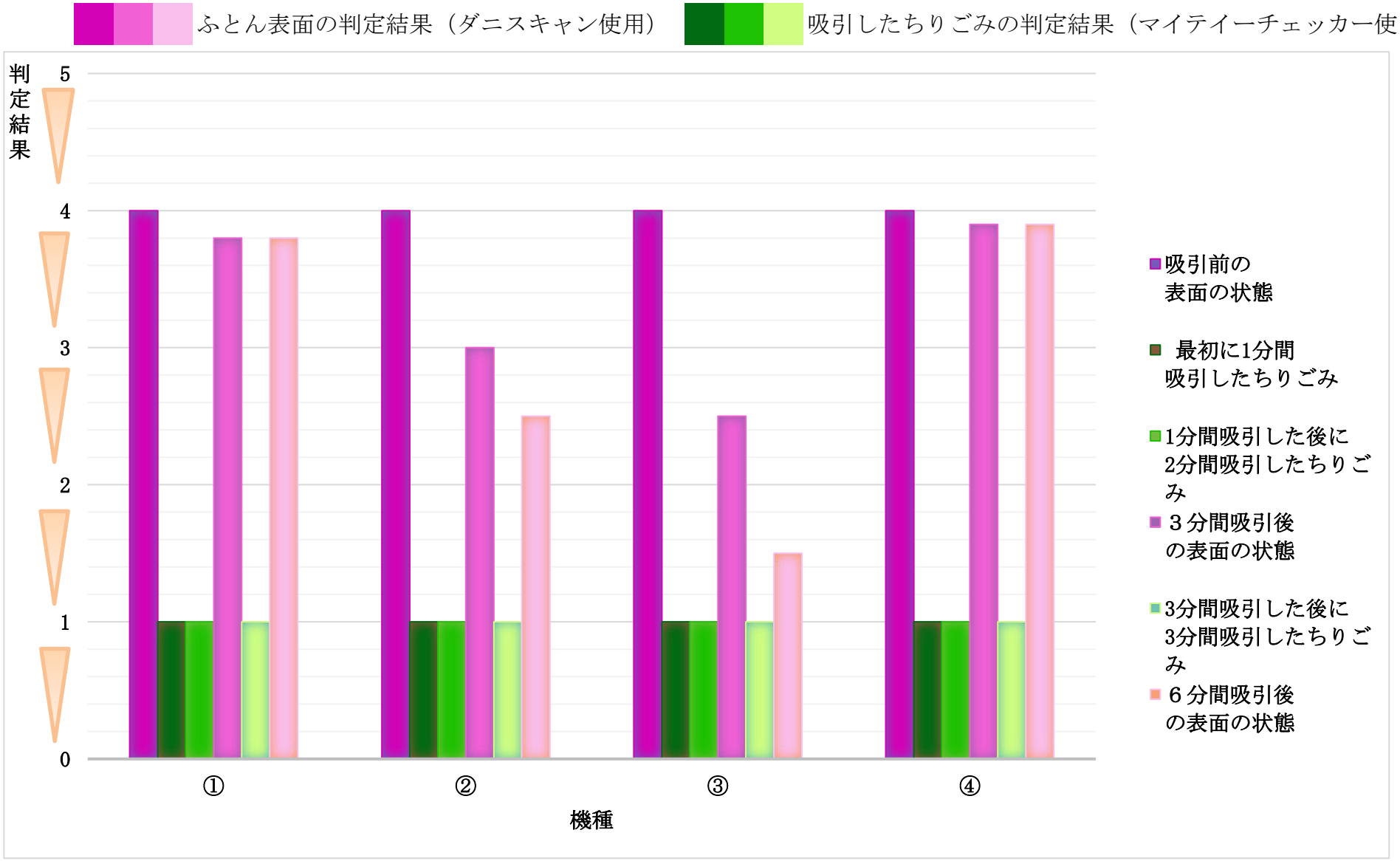
ダニ検査用マイテイーチェッカー・ダニスキャンによる判定結果

	吸引回数	①		②		③		④	
		マイテイーチェッカーの判定結果	ダニスキャンの判定結果	マイテイーチェッカーの判定結果	ダニスキャンの判定結果	マイテイーチェッカーの判定結果	ダニスキャンの判定結果	マイテイーチェッカーの判定結果	ダニスキャンの判定結果
テストのために購入したふとん	吸引前の表面の状態		4		4		4		4
	最初に1分間吸引したちりごみ	1		1		1		1	
	1分間吸引した後に2分間吸引したちりごみ	1		1		1		1	
	３分間吸引後の表面の状態		4 吸引前より多少汚染レベルが下がっている		3		3 ２と３のレベルの間くらいまで下がる		4 吸引前より多少汚染レベルが下がっている
	3分間吸引した後に3分間吸引したちりごみ	1		1		1		1	
	６分間吸引後の表面の状態		4 ３分間吸引後とほぼ同じ状況		3 ３分間吸引後よりかなり汚染レベルが下がっている		2 １と２のレベルの間くらいまで下がる		4 ３分間吸引後とほぼ同じ状況

判定の基準

4	１㎡あたり　３５０匹以上
3	１㎡あたり　１００匹程度
2	１㎡あたり　５０匹程度
1	１㎡あたり　１０匹以下

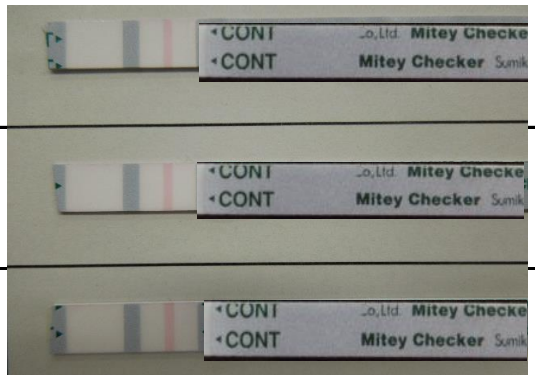
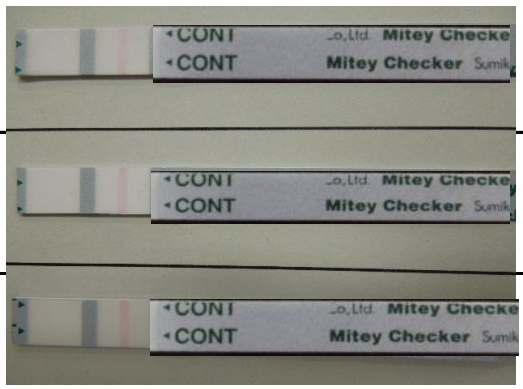
資料４　附１　　機能性（吸引）について(テストのために購入したふとん)

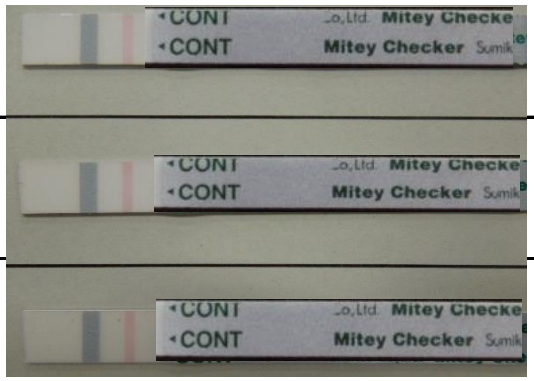
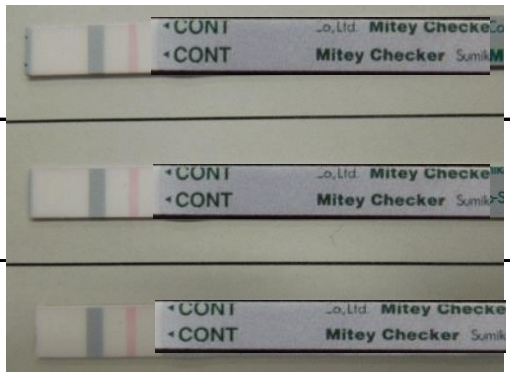


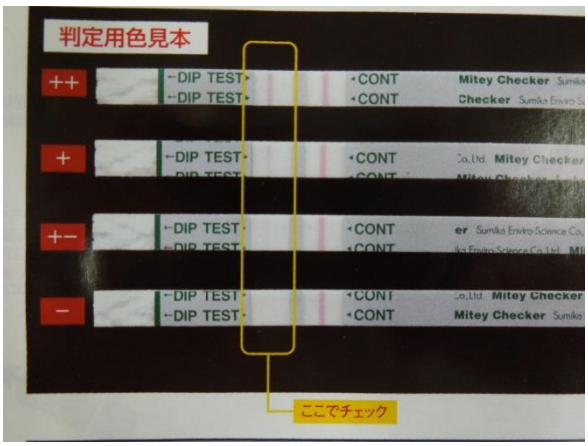
4	１㎡あたり　３５０匹以上
3	１㎡あたり　１００匹程度
2	１㎡あたり　５０匹程度
1	１㎡あたり　１０匹以下

資料４　附２　　機能性（吸引）について　（テストのために購入したふとん）

ダニ検査用マイテイーチェッカー判定紙

	吸引回数	①	②
テストのために購入したふとん	最初に1分間 吸引した ちりごみ		
	1分間 吸引した後 2分間吸引した ちりごみ		
	3分間 吸引した後 3分間吸引した ちりごみ		

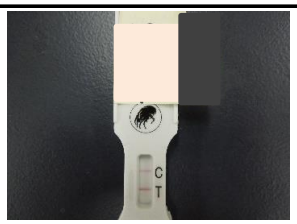
	吸引回数	③	④
テストのために購入したふとん	最初に1分間 吸引した ちりごみ		
	1分間 吸引した後 2分間吸引した ちりごみ		
	3分間 吸引した後 3分間吸引した ちりごみ		



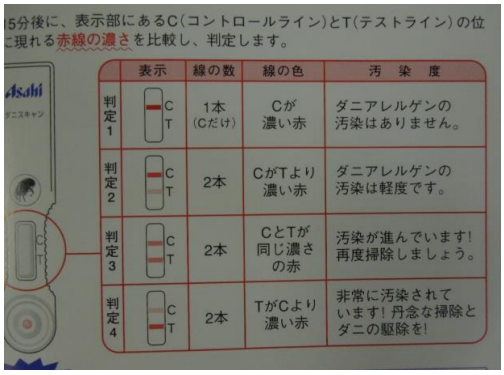
++	１㎡あたり　３５０匹以上
＋	１㎡あたり　１００匹程度
＋−	１㎡あたり　　５０匹程度
−	１㎡あたり　　１０匹以下

資料４　附３　　機能性（吸引）について(テストのために購入したふとん)

ダニスキャン判定

	吸引回数	①	②
テストのために購入したふとん	吸引前の表面の状態		
	３分間吸引後の表面の状態		
	６分間吸引後の表面の状態		

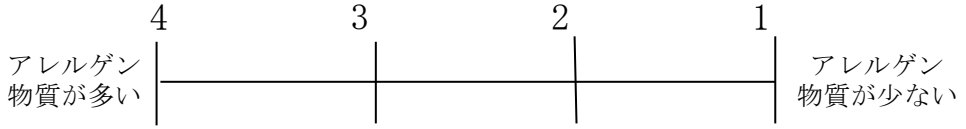
	吸引回数	③	④
テストのために購入したふとん	吸引前の表面の状態		
	３分間吸引後の表面の状態		
	６分間吸引後の表面の状態		



判定１	１㎡あたり　　１０匹以下
判定２	１㎡あたり　　５０匹程度
判定３	１㎡あたり　１００匹程度
判定４	１㎡あたり　３５０匹以上

資料５　　機能性（吸引）について（参考:別のふとん）

ダニ検査用マイテイーチェッカー・ダニスキャンによる判定結果



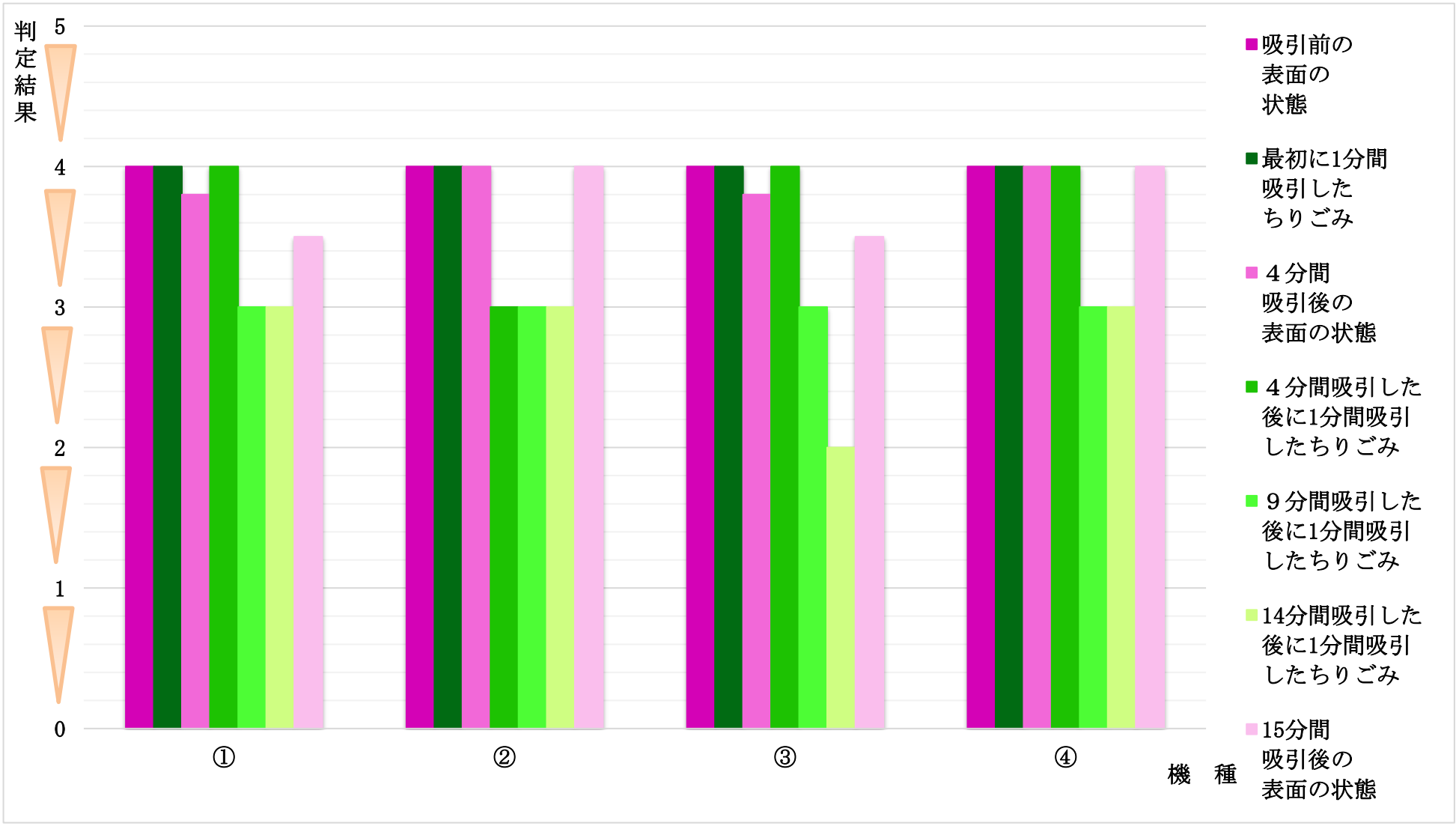
	吸引回数	①		②		③		④	
		マイテイーチェッカーの判定結果	ダニスキャンの判定結果	マイテイーチェッカーの判定結果	ダニスキャンの判定結果	マイテイーチェッカーの判定結果	ダニスキャンの判定結果	マイテイーチェッカーの判定結果	ダニスキャンの判定結果
参考・別のふとん	吸引前の表面の状態		4		4		4		4
	最初に1分間吸引したちりごみ	4		4		4		4	
	最初から４分間吸引後の表面の状態		4 吸引前より多少汚染レベル下がっている		4		4 吸引前より多少汚染レベル下がっている		4
	最初から４分間吸引した後1分間吸引したちりごみ	4		3		4		4	
	最初から９分間吸引した後1分間吸引したちりごみ	3		3		3		3	
	最初から14分間吸引した後1分間吸引したちりごみ	3		3		2		3	
	最初から15分間吸引後の表面の状態		4 ４分間吸引後より多少汚染レベル下がっている		4		4 ４分間吸引後より多少汚染レベル下がっている		4

判定の基準		
	4	１㎡あたり　３５０匹以上
	3	１㎡あたり　１００匹程度
	2	１㎡あたり　５０匹程度
	1	１㎡あたり　１０匹以下

資料５　附１　　機能性（吸引）について（参考:別のふとん）

ダニ検査用マイテイーチェッカー・ダニスキャンによる判定結果

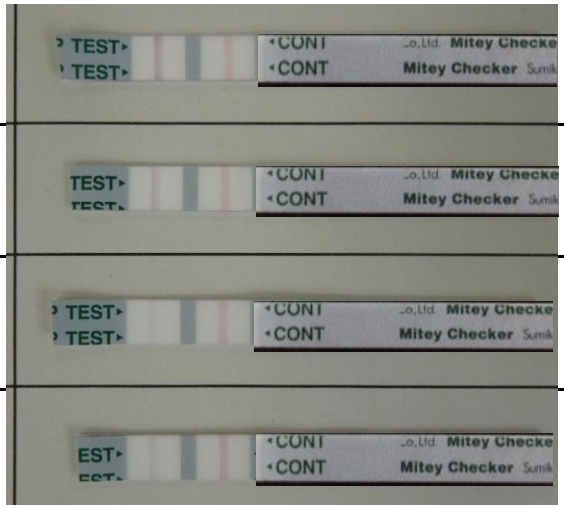
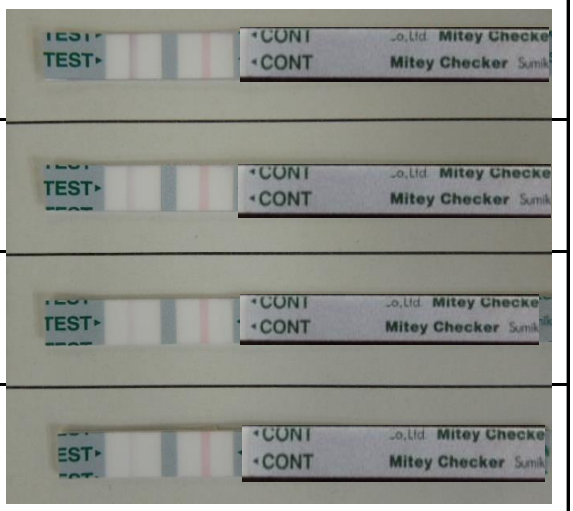
ふとん表面の判定結果（ダニスキャン使用）　吸引したちりごみの判定結果（マイテイーチェッカー使用

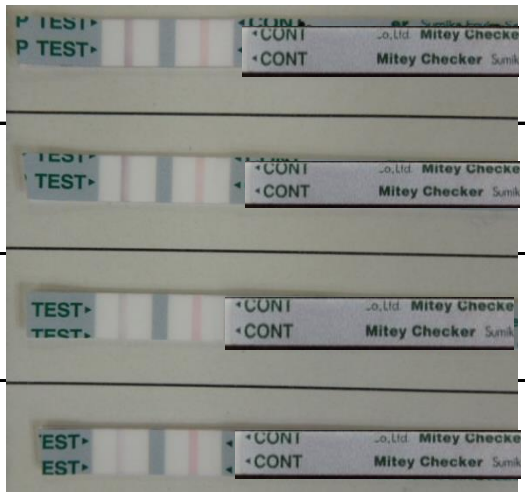


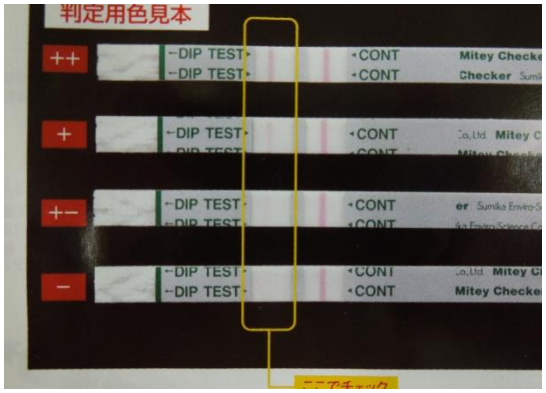
判定の基準		
	4	１㎡あたり　３５０匹以上
	3	１㎡あたり　１００匹程度
	2	１㎡あたり　５０匹程度
	1	１㎡あたり　１０匹以下

資料５　附２　　機能性（吸引）について(参考：別の寝具)

ダニ検査用マイテイーチェッカー判定紙

	吸引回数	①	②
参考・別の寝具	最初に1分間吸引したちりごみ		
	４分間吸引した後1分間吸引したちりごみ		
	９分間吸引した後1分間吸引したちりごみ		
	14分間吸引した後1分間吸引したちりごみ		

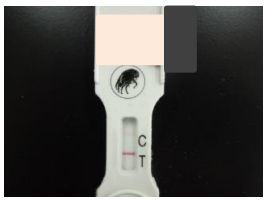
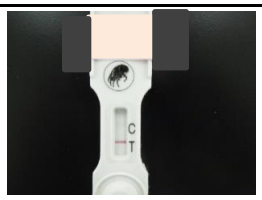
	吸引回数	③	④
参考・別の寝具	最初に1分間吸引したちりごみ		
	４分間吸引した後1分間吸引したちりごみ		
	９分間吸引した後1分間吸引したちりごみ		
	14分間吸引した後1分間吸引したちりごみ		

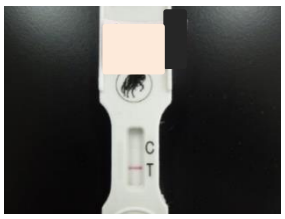
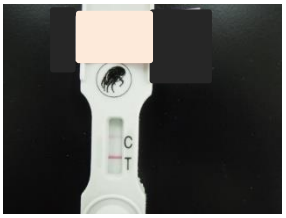
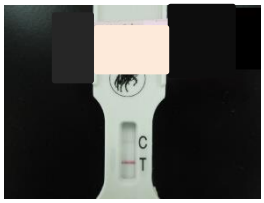


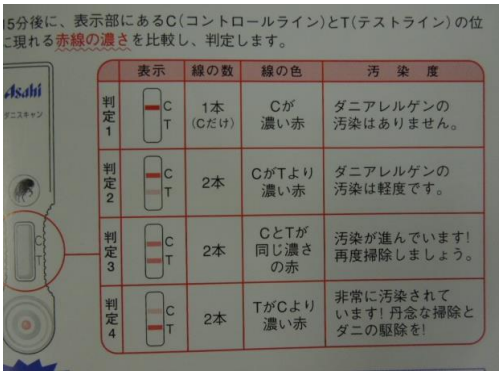
++	１㎡あたり　３５０匹以上
+	１㎡あたり　１００匹程度
+−	１㎡あたり　５０匹程度
−	１㎡あたり　１０匹以下

資料５　附３　　機能性（吸引）について（参考:別の寝具）

ダニスキャン判定

	吸引回数	①	②
参考・別の寝具	吸引前の表面の状態		
	４分間吸引後の表面の状態		
	15分間吸引後の表面の状態		

	吸引回数	③	④
参考・別の寝具	吸引前の表面の状態		
	４分間吸引後の表面の状態		
	15分間吸引後の表面の状態		



判定１	１㎡あたり	１０匹以下
判定２	１㎡あたり	５０匹程度
判定３	１㎡あたり	１００匹程度
判定４	１㎡あたり	３５０匹以上

資料６　　機能性（紫外線・連続使用時間）について

	①　※1	②	③	④
紫外線強度（照度）※２	0.087	2.91	1.18	3.3
紫外線照射範囲（cm×cm）	14×4	22.5×2.2	11×1.5	9.5×3.3
ＵＶランプの大きさ（cm×cm）	14×1.2	23×2.1	11×1.2	7.5×2.1
ＵＶランプと吸引対象物との距離　（cm）	約1.3	約1.2	約0.4	約1.0
ＵＶランプのワット数	ﾒｰｶｰに問合せたが不明	8	4	4.3
連続使用時間	約２４分間			

強度単位：mW／㎠
（ミリワットパー平方センチメートル（平方センチあたりミリワット））

※１：充電ｽﾃｰｼｮﾝに置いた時のみ吸い込み口を除菌するために紫外線を照射します

※２：紫外線強度：mW／㎠
ふとんクリーナーの強度計へのあて方のわずかな違いにより、強度の数値が変わるため
計測した中での最大値を記載しています

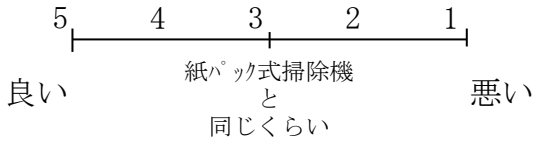
資料７　　安全性について

取扱説明書に安全性に関して記載されている項目を確認しました。

確認内容	① 結　果	② 結　果	③ 結　果	④ 結　果
吸込ﾓｰﾀｰ加熱防止装置付のため1)ﾀﾞｽﾄﾎﾞｯｸｽが一杯2)ﾀﾞｽﾄﾌｨﾙﾀｰ又は吸込口が塞がれている3)長時間使用した時作動しない	1）2）とも確認できない 3）充電が切れるまで連続作動した限りでは切れることはなかった	1）2）とも確認できない 3）30分間連続作動させると自動的に運転が切れた。（ﾀｲﾑﾘﾐｯﾄ機能）	1）2）とも確認できなかった 3）30分間連続作動した限りでは切れることはなかった	1）2）とも確認できなかった 3）30分間連続作動した限りでは切れることはなかった
ﾀﾞｽﾄﾎﾞｯｸｽやﾀﾞｽﾄﾌｨﾙﾀｰを正しく装着しないと作動しない		正しく装着されていないことを、ランプの点灯や音で知らせた		ﾀﾞｽﾄﾎﾞｯｸｽやﾀﾞｽﾄﾌｨﾙﾀｰを正しく装着しないと作動しなかった
UVｾﾝｻｰの周辺が汚れていたり異物が入り込むと作動しない		毛糸をセンサーに付けたが確認できなかった		毛糸をセンサーに付けたが確認できなかった
紫外線ﾗﾝﾌﾟが掃除対象物から離れると紫外線ﾗﾝﾌﾟが消灯する		約10ｃｍ掃除対象物から離れると消えた	約３ｃｍ掃除対象物から離れると消えた 但し強制実行ﾓｰﾄﾞ時を除く対象物が黒や暗い色の時に強制ﾓｰﾄﾞを利用する	約１ｃｍ掃除対象物から離れると消えた
一定の場所を何度も往復させると、静電気により作動しない			確認できなかった	
一定時間作動させないと自動でﾛｯｸﾓｰﾄﾞに切り替わる		ﾛｯｸﾓｰﾄﾞに切り替わると音で知らせた		
掃除対象物に強く押し付けることでたたきﾌﾞﾗｼに無理な力が入ると停止する		ふとんクリーナーの上から押しつけても停止は確認できなかった		

資料８　　使用性について

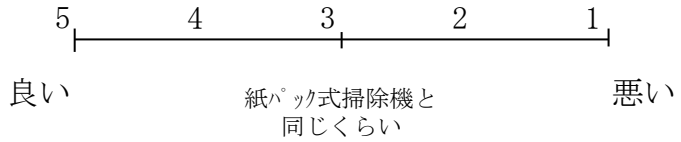
一般家庭で使用する紙パック式の掃除機の使用性を「３」＝普通として５段階で点数化しました。

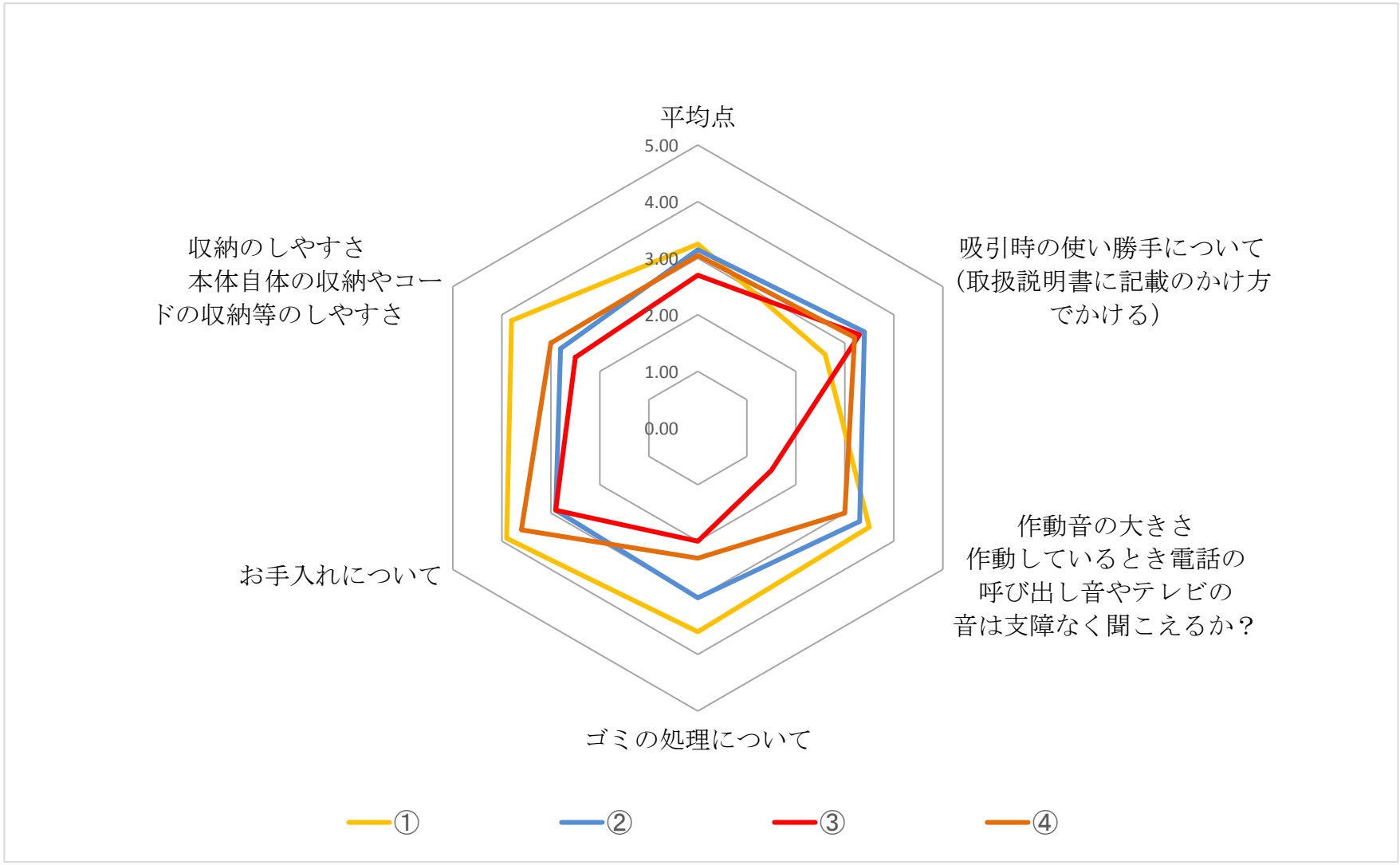


テスト　事　項	①	②	③	④
平　　均　　点	3.25	3.15	2.70	3.05
吸引時の使い勝手について（取説記載のかけ方でかける）	2.56	3.44	3.31	3.19
スイッチ類のわかりやすさ ＯＮとＯＦＦのスイッチ・運転モードの切替	2.25	3.25	2.50	3.50
吸引時の動かしやすさ 重たさや大きさ・握りやすさ等 ふとんカバーやシーツを吸い込まないか	3.25	3.50	2.75	4.25
目に見えるゴミ（毛髪等）の吸い込み状況	2.50	4.00	3.75	1.75
ﾀﾞｽﾄﾎﾞｯｸｽが空の時とたくさんゴミがたまった時の吸引力の違い 吸い込み方の差の出方が小さい（評価5）か 大きい(評価1）か	2.25	3.00	4.25	3.25
作動音の大きさ 作動しているとき電話の呼び出し音やテレビの音は支障なく聞こえるか？	3.50	3.25	1.50	3.00
ゴミの処理について	3.63	3.00	2.00	2.25
ゴミを捨てる時の一連の手順 ﾀﾞｽﾄﾎﾞｯｸｽの水洗い等も含む	3.75	2.75	2.00	3.00
使用者がゴミを処理する時粉塵を吸い込む可能性があるか？	3.50	3.25	2.00	1.50
お手入れについて	3.88	2.88	2.88	3.63
定期的なお手入れについて	3.50	3.00	2.50	4.00
消耗品の交換について	4.25	2.75	3.25	3.25
収納のしやすさ 本体自体の収納・コードの収納等のしやすさ	3.75	2.75	2.50	3.00

資料８　附1　　使用性について（大目・機種別グラフ）

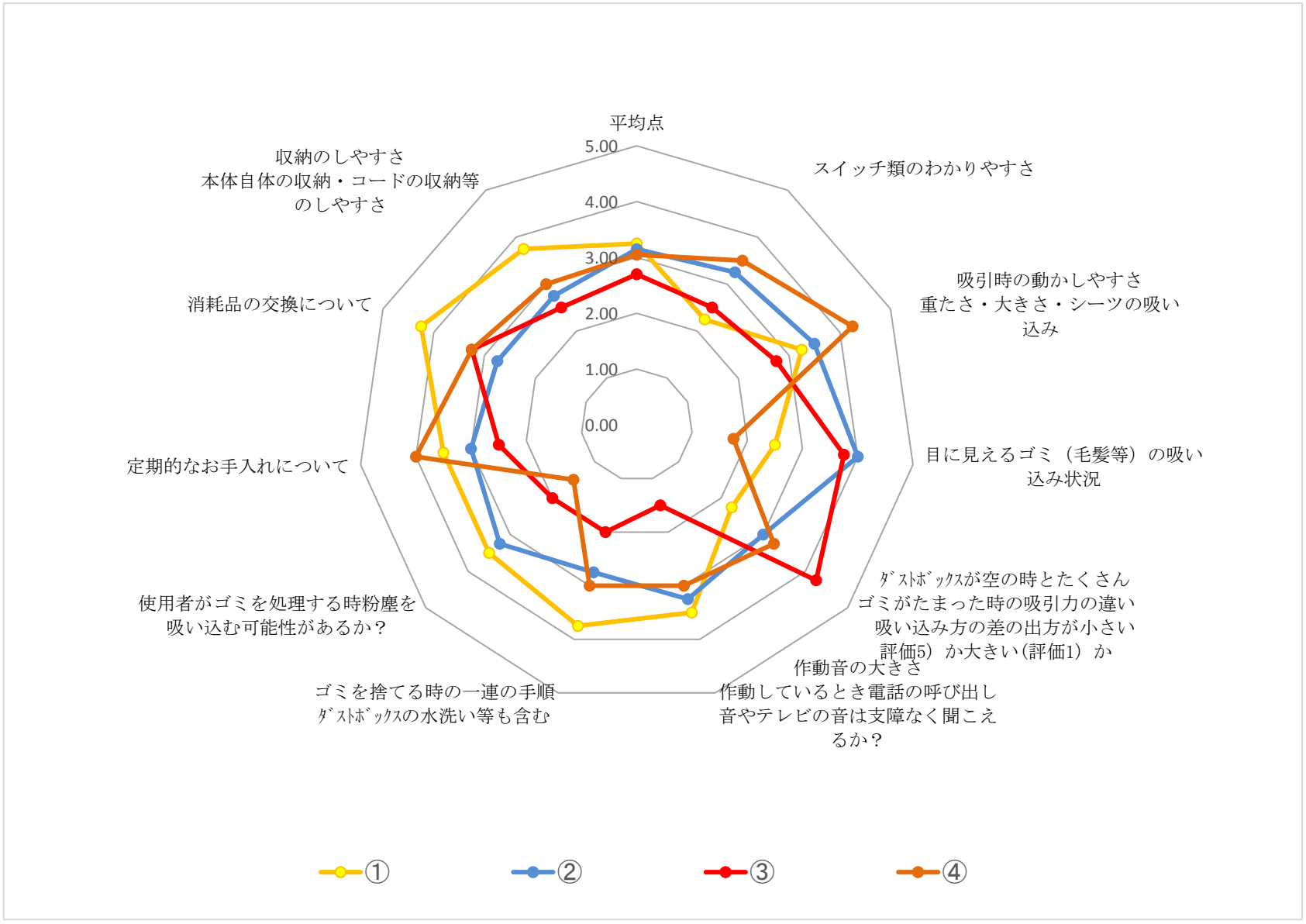
一般家庭で使用する紙パック式の掃除機の使用性を「３」＝普通として５段階で点数化しました。





資料８　附２　　使用性について(細目・機種別グラフ)

一般家庭で使用する紙パック式の掃除機の使用性を「３」＝普通として５段階で点数化しました。



資料８　附３　　①の使用性について

一般家庭で使用する紙パック式の掃除機の使用性を「３」＝普通として５段階で点数化しました。

掃除対象物（複数可）	5　4　3　2　1		
ﾍﾞｯﾄﾞﾏｯﾄﾚｽ・ふとん・座布団・ｿﾌｧ・枕・ｸｯｼｮﾝ・ﾀｵﾙｹｯﾄ・ぬいぐるみ	良い　紙ﾊﾟｯｸ式掃除機と同じくらい　悪い	全体平均	3.25

テスト　事　項			平均点
吸引時の使い勝手について（取扱説明書に記載されている方法でかける）		2.56	
スイッチ類のわかりやすさ			2.25
ＯＮとＯＦＦのスイッチ・運転モードの切替 ゴミ捨てサイン・フィルター交換サイン等は わかりやすいか	評価の理由	光線の状況によりﾊﾞｯﾃﾘｰ残量お知らせｻｲﾝが見づらい。ON・OFFのｽｲｯﾁが裏面にありわかりづらい。 運転モードの切替・ゴミ捨てサイン・フィルター交換サイン等は無い。	
吸引時の動かしやすさ			3.25
本体の動かしやすさ （重たさや大きさ・握りやすさ等） ふとんカバーやシーツを吸い込まないか 動かす時コードは邪魔にならないか	評価の理由	本体の高さがあるため使用状況により重たさの感じ方が変わる。 ｶﾊﾞｰやｼｰﾂは吸い込まない。 ｺｰﾄﾞﾚｽで使いやすい。	
目に見えるゴミの吸い込み状況			2.50
髪の毛等の目に見える程度の大きさのゴミは 取れたか	評価の理由	掃除対象物により髪の毛や糸くず等取りにくい場合がある。	
ダストボックスが空の時とたくさんゴミがたまった時の吸引力の違い			2.25
吸い込み方の差の出方が紙ﾊﾟｯｸ式掃除機と 比べて小さい（評価5）か大きい(評価1）か 5段階で評価してください	評価の理由	テスト期間内でゴミがﾀﾞｽﾄﾎﾞｯｸｽ一杯になることはなかったが、吸引力の変化はあまり感じなかった。最初から吸引力が弱いように感じられた。	
作動音の大きさ		3.50	3.50
作動しているとき電話の呼び出し音やテレビ の音は支障なく聞こえるか	評価の理由	音の支障はあまり感じない。	
ゴミの処理について		3.63	
ゴミを捨てる時の一連の手順			3.75
ﾀﾞｽﾄﾎﾞｯｸｽからゴミ捨て・ﾀﾞｽﾄﾎﾞｯｸｽの水洗い 乾燥・本体に戻す	評価の理由	ゴミ捨て・ﾀﾞｽﾄﾎﾞｯｸｽの水洗いは簡単にできるが、ﾀﾞｽﾄﾎﾞｯｸｽの奥の角は少々洗いにくい。 乾燥して本体に戻すのは問題無い。	
使用者がゴミを処理する時粉塵を吸い込む可能性があるか			3.50
粉塵が舞いやすいかどうか	評価の理由	ﾀﾞｽﾄﾎﾞｯｸｽの大きさが小さいためか、埃の舞いは気にならない。	
お手入れについて		3.88	
定期的なお手入れについて			3.50
吸い込み口のお手入れ ダストフィルターのお手入れ	評価の理由	特に面倒ではなく比較的簡単にできる。	
消耗品の交換について			4.25
ｽﾎﾟﾝｼﾞﾌｨﾙﾀｰ・HEPAﾌｨﾙﾀｰの取り替え	評価の理由	楽に簡単にできる。	
収納のしやすさ		3.75	3.75
本体自体の収納のしやすさ コードの収納のしやすさ	評価の理由	本体・コードとも収納のしやすいが、充電器と本体を合わせると大きいので場所をとる。	

他に 気づいた事 感想	評価できる点 ・クリーナーをかけた後はふとんがふわふわした感じがして、気持ちよく寝ることができた。 ・コードが無いので持ち運びに便利だった。 ・デザインが白くてきれいだと思った。 評価できない点や改良してほしい点 ・バッテリー残量お知らせランプにあとどのくらいの時間（分）使用できるのか表示が　あると掃除の段取りの参考になる。 ・充電中もバッテリー残量お知らせランプが見にくい。 ・移動する時本体と充電ステーションが一体で持ち運べるとよいと思った。 ・吸引力があまり無いような感じがする。

資料８　附４　　②の使用性について

一般家庭で使用する紙パック式の掃除機の使用性を「３」＝普通として５段階で点数化しました。

掃除対象物（複数可） ﾍﾞｯﾄﾞﾏｯﾄﾚｽ・ふとん・枕・ ｸｯｼｮﾝ・毛布・じゅうたん	5　4　3　2　1 良い　紙ﾊﾟｯｸ式掃除機と同じくらい　悪い	全体平均	3.15

テスト　事　項			
吸引時の使い勝手について（取扱説明書に記載されている方法でかける）		3.44	
スイッチ類のわかりやすさ			3.25
ＯＮとＯＦＦのスイッチ・運転モードの切替 ゴミ捨てサイン・フィルター交換サイン等は わかりやすいか	評価の理由	ＯＮとＯＦＦのスイッチはわかりやすく、手元にスイッチがあるので操作しやすいが、少し操作しないとロックモードになってしまいその度ごとに解除操作が必要になった。ゴミ捨てサインはないが、その他は電子音で知らせるのでわかりやすかった。	
吸引時の動かしやすさ			3.50
本体の動かしやすさ （重たさや大きさ・握りやすさ等） ふとんカバーやシーツを吸い込まないか 動かす時コードは邪魔にならないか	評価の理由	普通の掃除機にふとん専用ﾉｽﾞﾙをつけたものより動かしやすかったが、重く感じた。 ふとんカバーやシーツは吸い込まない。 コードが長いので邪魔になる場合もある。	
目に見えるゴミの吸い込み状況			4.00
髪の毛等の目に見える程度の大きさのゴミは 取れたか	評価の理由	ある程度取れるが、大きいゴミは思ったほど吸い込まなかった。	
ﾀﾞｽﾄﾎﾞｯｸｽが空の時とたくさんゴミがたまった時の吸引力の違い			3.00
吸い込み方の差の出方が紙ﾊﾟｯｸ式掃除機と 比べて小さい（評価5）か大きい(評価1）か 5段階で評価してください	評価の理由	フィルターにチリゴミがベッタリついても吸込み方には変化は感じられなかった。	
作動音の大きさ		3.25	3.25
作動しているとき電話の呼び出し音やテレビ の音は支障なく聞こえるか	評価の理由	電話機のある部屋以外の所では聞こえづらくなるが、ほぼ普通の掃除機と同じくらいだった。	
ゴミの処理について		3.00	
ゴミを捨てる時の一連の手順			2.75
ﾀﾞｽﾄﾎﾞｯｸｽ水中に・標準ﾌｨﾙﾀｰとﾀﾞｽﾄﾎﾞｯｸｽを 流水洗い・乾燥・本体へ戻す	評価の理由	ﾀﾞｽﾄﾎﾞｯｸｽを水中に入れるとﾁﾘｺﾞﾐが浮いてきて洗いにくい。汚水により排水溝のつまりやシンクの汚れが気になる。乾燥に時間がかかり連続して使えない。	
使用者がゴミを処理する時粉塵を吸い込む可能性があるか			3.25
粉塵が舞いやすいかどうか	評価の理由	水中でのごみ処理が使用要件になっているため粉塵は舞い上がらない。	
お手入れについて		2.88	
定期的なお手入れについて			3.00
回転ブラシの手入れ・吸い込み口周辺の 手入れ・UVﾗﾝﾌﾟの手入れ	評価の理由	手入れの手順自体はやりやすいが、静電気で本体の周りや回転ﾌﾞﾗｼ・UVﾗﾝﾌﾟ等の周辺にゴミが張り付き取りづらかった。	
消耗品の交換について			2.75
回転ブラシの交換・UVﾗﾝﾌﾟの交換 標準ﾌｨﾙﾀｰとﾏｲｸﾛﾌｨﾙﾀｰの交換	評価の理由	回転ブラシ・標準ﾌｨﾙﾀｰ・ﾏｲｸﾛﾌｨﾙﾀｰの交換はしやすかったが、ねじ止めが多くﾄﾞﾗｲﾊﾞｰが必要なのでめんどうだった。 UVﾗﾝﾌﾟの交換ははめ込みが固くﾗﾝﾌﾟの破損に注意が必要だった。	
収納のしやすさ		2.75	2.75
本体自体の収納のしやすさ コードの収納のしやすさ	評価の理由	コードの収納が本体にできるといい。	

他に 気づいた事 感想	評価できる点 ・思った以上に細かいチリが取れた。 ・クリーナーをかけた後は気のせいか寝室の空気が澄んでいるような感じがした。 また、ふとんに触れると気持ちよく感じた。 評価できない点や改良してほしい点 ・わりとすぐに標準フィルターにチリゴミがいっぱいになり（目詰まりしているように感じる程度）、連続してたくさんの掃除ができない気がする。（掃除したくなくなる。） ・本体の形が変わっているので、簡単に収納できる方法があるといい。 （⇒今回のテストでは購入しませんでしたが、別売りのアクセサリーとして収納台があり、これを使うと縦に置いて収納ができます。）

資料８　附５　　③の使用性について

一般家庭で使用する紙パック式の掃除機の使用性を「３」＝普通として５段階で点数化しました。

掃除対象物（複数可） ﾍﾞｯﾄﾞﾏｯﾄﾚｽ・ふとん・毛布・ソファ・枕・ｸｯｼｮﾝ・ﾑｰﾄﾝ・じゅうたん	5　4　3　2　1 良い　紙ﾊﾟｯｸ式掃除機と同じくらい　悪い	全体平均	2.70

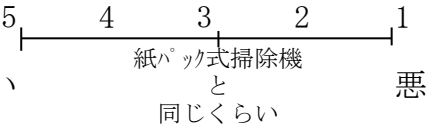
テスト　事　項			平均点
吸引時の使い勝手について（取扱説明書に記載されている方法でかける）		3.31	
スイッチ類のわかりやすさ			2.50
ＯＮとＯＦＦのスイッチ・運転モードの切替 ゴミ捨てサイン・フィルター交換サイン等はわかりやすいか	評価の理由	長押ししないと作動状態にならないので取扱説明書を見ないとわかりにくい。運転モードの切替がﾓｰﾄﾞ選択中は赤、ﾓｰﾄﾞ非選択は青のﾗﾝﾌﾟ表示になるのが感覚的にわかりにくい。 ゴミ捨てサインやﾌｨﾙﾀｰ交換サイン等はないのでわかりにくい。	
吸引時の動かしやすさ			2.75
本体の動かしやすさ （重たさや大きさ・握りやすさ等） ふとんカバーやシーツを吸い込まないか 動かす時コードは邪魔にならないか	評価の理由	重く感じられ、長時間使用するのは辛い。 ふとんカバーやシーツを吸い込まない。 コードが邪魔になる場合がある。	
目に見えるゴミの吸い込み状況			3.75
髪の毛等の目に見える程度の大きさのゴミは取れたか	評価の理由	髪の毛等は取りにくい。回転ﾌﾞﾗｼに糸等が絡みついた。吸引力は良い。	
ﾀﾞｽﾄﾎﾞｯｸｽが空の時とたくさんゴミがたまった時の吸引力の違い			4.25
吸い込み方の差の出方が紙ﾊﾟｯｸ式掃除機と比べて小さい（評価5）か大きい(評価1）か5段階で評価してください	評価の理由	変化は感じられなかった。	
作動音の大きさ		1.50	1.50
作動しているとき電話の呼び出し音やテレビの音は支障なく聞こえるか	評価の理由	作動音が大きくテレビの音（通常一般家庭で視聴する程度の音量）は全く聞こえない。会話も難しい。	
ゴミの処理について		2.00	
ゴミを捨てる時の一連の手順			2.00
ﾀﾞｽﾄﾎﾞｯｸｽとHEPAﾌｨﾙﾀｰからゴミ捨て・ﾌﾞﾗｯｼﾝｸﾞ・水洗い・乾燥・本体へ戻す	評価の理由	ダストボックスを開けてチリゴミを捨て洗うことは全てやりやすい。HEPAﾌｨﾙﾀｰに付いているチリゴミを専用のブラシで掃除をする時にﾌｨﾙﾀｰの溝をきれいにするのが大変だった。	
使用者がゴミを処理する時粉塵を吸い込む可能性があるか			2.00
粉塵が舞いやすいかどうか	評価の理由	どうしてもチリゴミは舞いやすいので、マスクの着用や戸外での作業が望ましい。水洗い時は特に問題はなかった。	
お手入れについて		2.88	
定期的なお手入れについて			2.50
ﾀﾞｽﾄﾎﾞｯｸｽとHEPAﾌｨﾙﾀｰの水洗いと乾燥 回転ﾌﾞﾗｼの手入れ	評価の理由	ﾀﾞｽﾄﾎﾞｯｸｽとHEPAﾌｨﾙﾀｰの水洗いはしやすい。乾燥も早い。 回転ﾌﾞﾗｼの手入れでサブ吸引ホースを使って行えるのは簡便だが、ブラシ自体は外せず本体の枠が手前にあるので手入れしにくい。	
消耗品の交換について			3.25
UVﾗﾝﾌﾟの交換 （一度外して同じ物をはめてください） HEPAﾌｨﾙﾀｰの交換 （新しい物と交換してください）	評価の理由	UVﾗﾝﾌﾟの交換については取扱説明書に交換方法の記載がないが、ドライバーが必要と思われる。 HEPAﾌｨﾙﾀｰの交換はやりやすい。	
収納のしやすさ		2.50	2.50
本体自体の収納のしやすさ コードの収納のしやすさ	評価の理由	サブ吸引ホースが本体に付けられるのでコンパクトになるが、コードの収納場所がない。	

他に 気づいた事 感想	評価できる点 ・よくチリゴミが取れるので、クリーナーをかけた後はふとんがふわふわした感じがしたり、シーツが洗いたてのような感じがした。 また、冬物シーツのほこりが取れて色目が鮮やかになったような感じがした。 評価できない点や改良してほしい点 ・コードリール方式にしてほしい。 ・交換用HEPAﾌｨﾙﾀｰが包装から取り出しにくく、はさみで包装材を切らなければ取り出せなかったので改良してほしい。 ・マニュアルを読まず、まず使用してみるという人にはわかりにくかった。

資料８　附６　　④の使用性について

一般家庭で使用する紙パック式の掃除機の使用性を「３」＝普通として５段階で点数化しました。

掃除対象物（複数可）
ﾍﾞｯﾄﾞﾏｯﾄﾚｽ・ふとん・毛布・ｿﾌｧ・枕・ぬいぐるみ・座布団・じゅうたん



全体平均　3.05

テスト　事　項			平均点
吸引時の使い勝手について（取扱説明書に記載されている方法でかける）		3.19	
スイッチ類のわかりやすさ			3.50
ＯＮとＯＦＦのスイッチ・運転モードの切替ゴミ捨てサイン・フィルター交換サイン等はわかりやすいか	評価の理由	ＯＮとＯＦＦのスイッチはわかりやすい。運転モードの切替も操作しやすいが、スライド式のスイッチの指す位置と目盛の位置が合っていないので、目で見てすぐにその時の運転モードを把握するのは難しい。ゴミ捨てサインやﾌｨﾙﾀｰ交換サイン等はないのでわかりにくい。	
吸引時の動かしやすさ			4.25
本体の動かしやすさ（重たさや大きさ・握りやすさ等）ふとんカバーやシーツを吸い込まないか動かす時コードは邪魔にならないか	評価の理由	持ちやすく適度な重さでかけやすかった。しかし長時間になると腕が多少疲れてきた。ふとんカバーやシーツを吸い込まない。コードも特に気にならない。	
目に見えるゴミの吸い込み状況			1.75
髪の毛等の目に見える程度の大きさのゴミは取れたか	評価の理由	始めは多少吸い込んだがﾀﾞｽﾄﾎﾞｯｸｽにチリゴミが溜まってくると吸い込まない。	
ﾀﾞｽﾄﾎﾞｯｸｽが空の時とたくさんゴミがたまった時の吸引力の違い			3.25
吸い込み方の差の出方が紙ﾊﾟｯｸ式掃除機と比べて小さい（評価5）か大きい(評価1）か5段階で評価してください	評価の理由	吸引力が落ちたようには感じなかった。髪の毛等が吸い込まなくなったので若干吸引力が落ちたと感じたくらいだった。	
作動音の大きさ		3.00	3.00
作動しているとき電話の呼び出し音やテレビの音は支障なく聞こえるか	評価の理由	思ったより音は大きい。聞き取りにくい。	
ゴミの処理について		2.25	
ゴミを捨てる時の一連の手順			3.00
ﾀﾞｽﾄﾎﾞｯｸｽとﾀﾞｽﾄﾎﾞｯｸｽﾌｨﾙﾀｰからゴミ捨て・ﾀﾞｽﾄﾌｨﾙﾀｰと排気ﾌｨﾙﾀｰをﾌﾞﾗｯｼﾝｸﾞ・本体へ戻す	評価の理由	それほど手間はかからなかったが、ﾀﾞｽﾄﾎﾞｯｸｽﾌｨﾙﾀｰの清掃にﾌﾞﾗｼがあれば良いと思った。ﾌｨﾙﾀｰをはめ込む時の上下がわかりにくい。	
使用者がゴミを処理する時粉塵を吸い込む可能性があるか			1.50
粉塵が舞いやすいかどうか	評価の理由	ﾀﾞｽﾄﾎﾞｯｸｽﾌｨﾙﾀｰを外す時に細かいちりごみが舞うので、マスクの着用や戸外での作業が望ましい。	
お手入れについて		3.63	
定期的なお手入れについて			4.00
吸い込み口の手入れ・ｾﾝｻｰの手入れ	評価の理由	手入れしやすい。	
消耗品の交換について			3.25
ﾀﾞｽﾄﾎﾞｯｸｽﾌｨﾙﾀｰと排気ﾌｨﾙﾀｰの交換（新しい物と交換してください）	評価の理由	交換しやすいが、交換の目安がない。排気ﾌｨﾙﾀｰの取り付け方が本体に貼ってあり戸惑うことがない。	
収納のしやすさ		3.00	3.00
本体自体の収納のしやすさ コードの収納のしやすさ	評価の理由	本体が立てかけられない。コードも本体に収まらないので邪魔だった。	

他に 気づいた事 感想	評価できる点 ・ふとん等の平らなものをかけるときはアイロンのように重さがあるのでじっくり動かせた。 評価できない点や改良してほしい点 ・コードリール方式にするか、本体・コードとも収納できるケースがほしい。 ・除菌には「一箇所２分以上照射すると効果が上がる」と取扱説明書に記載されており、なおかつ除菌できる箇所とクリーナーの吸い込み口が共に小さいので、除菌効果を期待しつつふとん等全体をかけるにはかなり時間がかかるので、改良してもらいたい。 ・ぬいぐるみ・ｸｯｼｮﾝ等凹凸のあるものは、かなり押し付けないと除菌ﾗﾝﾌﾟが点かないのでやりにくかった。